

大規模災害発生時のリダンダンシー確保は急務

熊本地震発生直後における熊本都市圏の渋滞状況 平成28年4月17日(日)



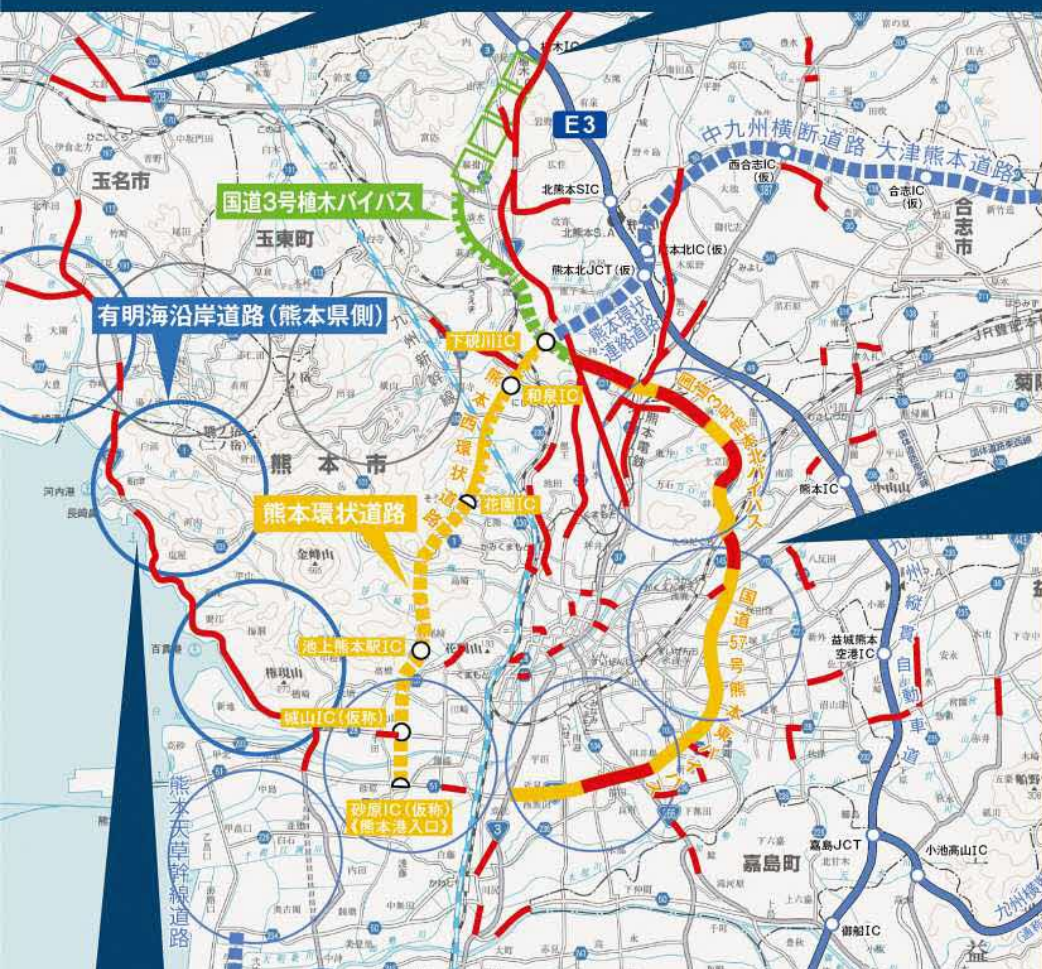
特に激しい交通渋滞が発生した国道3号や国道501号を避けるため、大量の車両が**国道208号**に流入した。



熊本地震によって九州縦貫自動車道が被災・寸断されたことにより、県北方面からの車両が国道3号に集中し、深刻な交通渋滞を引き起こした。災害時における九州縦貫自動車道の代替機能・ダブルネットワーク構築のためには**「国道3号植木バイパス」の早期整備**が不可欠である。



【凡例】
旅行速度
10km/h未満



国道501号は長崎県や佐賀県側からのルートとなっており、人や物資の輸送や国道3号の渋滞を避ける車両が流入し、激しい交通渋滞が発生した。救急救援活動時の円滑な通行の確保やリダンダンシー確保の観点からも**「有明海沿岸道路(熊本県側)」**整備の重要性が改めて確認された。

国道57号熊本東バイパスは、熊本ICや阿蘇方面からの交通の要であり、朝夕の通勤時間帯には慢性的に渋滞が発生している路線である。熊本地震後は、特に激しい交通渋滞が発生しており、**「主要5交差点*の立体交差化」**による交通渋滞の緩和が必要である。

* 新南部・保田窪北・神水・田井島・流通団地入口

「平成28年熊本地震」では、九州縦貫自動車をはじめとする幹線道路が寸断され、深刻な交通渋滞が発生しました。住民が安心して生活するためには、**災害に強い道路ネットワークの構築が必要不可欠です。**

※掲載の画像は全てが平成28年4月17日のものではありません。渋滞箇所のデータは国土技術政策総合研究所集計データ(速報値)より抜粋

地域高規格熊本環状道路建設促進期成会
有明海沿岸道路建設促進熊本県期成会
国道3号植木バイパス建設促進期成会

「都市圏の交通渋滞解消」と
「高規格道路ネットワークの構築」に向けて



熊本城天守閣
(2025年6月 加藤神社から撮影)

交通混雑の緩和により、これら時間的制約に伴う経済損失の解消が期待できる。